2026 年　9 月　8 日作成（第 1.2 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学整形外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024 年　12 月

福島県立医科大学医学部整形外科学講座　関　敬大

■ 研究課題名

頚髄症に対する術式の違いによる術後の X 線写真における変化と臨床症状の関連に関する研究

■ 研究期間

2024 年 12 月　～　2029 年 12 月

■ 研究の目的・意義

本研究では、様々な首の術式において

１）術後の長期における X 線変化の検討

２）術後の頚椎後弯変形発生の関連因子を明らかにすること

３）頚椎の X 線での変化と臨床症状との関係を明らかにすること

を目的に行います。

本研究により、当科で施行した頚椎症性脊髄症に対する頚椎椎弓骨切り術を含む各種術式の長期にわたる有用性と限界が明らかになれば、よりよい術式選択を通じて頚髄症の患者に対して資することになります。

■ 研究対象となる方

1991 年 1 月から 2029 年 10 月までに福島医大附属病院または南相馬市立総合病院で頚髄症に対して前方法、または後方法で手術がなされ、福島医大附属病院整形外科外来、または南相馬市立総合病院、鹿島厚生病院整形外科で術後 1 年以上経過観察がなされている患者様が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、頚椎 X-p のパラメーター、施行した手術の種類、術前と術後に行うアンケートの結果よりデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

２０２４年 12 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学整形外科学講座であり、研究責任者は整形外科学講座　関　敬大です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木　弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学整形外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

ありません

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先
〒960-1295　福島県福島市光が丘 1 番地
公立大学法人福島県立医科大学医学部整形外科学講座　担当：関　敬大
電話：024-547-1276
e-mail：leofeeze@fmu.ac.jp